

# 4 / 15 (水)、4・16 (木) の行事

報道発表資料の配付日 4月1日(水)

発表項目 (行事名)	平成27年北海道森づくり研究成果発表会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道と(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部の共催で、森林整備や木材利用に関する技術・研究成果、活動事例等の発表を通じ、北海道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として「平成27年北海道森づくり研究成果発表会」を次の日程で開催します。</p> <p>1 開催日程 発表会は、森林整備部門と木材利用部門に分けて開催します。</p> <p>(1) 森林整備部門 日時：平成27年4月15日(水) 10:00～16:20 場所：札幌エルプラザ(札幌市北区北8条西3丁目) 内容：森林・林業や身近なみどりに関する技術や研究成果、活動事例など</p> <p>(2) 木材利用部門 日時：平成27年4月16日(木) 10:10～16:15 場所：旭川市大雪クリスタルホール(旭川市神楽3条7丁目) 内容：林産技術・特用林産に関する技術や研究成果、活動事例など</p> <p>2 発表課題等 別紙のとおり</p> <p>3 参加申込方法 報道関係の方につきましては、参加申込は不要です。当日、直接会場へお越しく下さい。</p> <p>4 その他 詳細につきましては、森林研究本部のホームページをご覧ください。 (4月よりURLが変更になりました) <a href="http://www.hro.or.jp/list/forest/index.html">http://www.hro.or.jp/list/forest/index.html</a></p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)林政記者クラブ	
	同時レク		

担当 (連絡先)	水産林務部 森林環境局 森林活用課 美唄普及指導員室(担当:佐々木 健) TEL 0126-66-6100(直通)		
-------------	--	--	--

# 森林整備部門プログラム(平成27年4月15日・札幌開催)

口頭発表:3Fホール

一般発表

時 間	発 表 課 題 名	発 表 者		
		所 属		氏 名
10:05 ~ 10:20	佐呂間町間伐試験林の成果について	北 海 道	オホーツク総合振興局 東部森林室普及課	林 優子
10:20 ~ 10:35	置戸照査法試験地の施業経過報告 -第VII経理期を終えて-	北 海 道	オホーツク総合振興局 東部森林室森林整備課	下久根 宣樹
10:35 ~ 10:50	民国連携による地域に根ざした木育活動 -木の良さを感じてほしい-	北 海 道	水産林務部林業木材課	佐々木 真理子
		(元 北海道森林管理局)	(元 上川中部森林管理署)	
		北 海 道	上川総合振興局林務課	畠 義博
10:50 ~ 11:05	コンテナ苗の活用に向けた取り組み -植付用器具の改良-	北海道森林管理局	網走南部森林管理署	村田 彰寛
				村辺 寿宏

## 道総研 研究成果発表

### 【林産試験場】

時 間	発 表 課 題 名	発 表 者			
		所 属		氏 名	
11:05 ~ 11:15	林産試験場の研究概要	道総研	林産試験場	企業支援部	斎藤 直人
11:15 ~ 11:40	木質バイオマス発電シミュレーターを作りました			利用部 マテリアルグループ	古俣 寛隆
11:40 ~ 12:05	道南スギの材質と強度性能			性能部 耐久・構造グループ	藤原 拓哉
				利用部 マテリアルグループ	大崎 久司

### 【林業試験場】

13:20 ~ 13:30	林業試験場の研究概要	道総研	林業試験場	副 場 長	原 秀穂
13:30 ~ 13:55	太平洋戦争後の日本海北部沿岸における 砂丘荒地地の状況と周辺住民の生活環境			森林環境部 環境グループ	真坂 一彦
13:55 ~ 14:45	「新たな住まい」と森林資源循環による 持続可能な地域の形成 -「森林資源の循環利用システム」の構築- (トドマツ編)			森林資源部 経営グループ	津田 高明 大野 泰之
				企画調整部 企画課 企画グループ	酒井 明香
15:25 ~ 15:50	カラマツとクリーンラーチの コンテナ苗木生産方法の開発	道総研	林業試験場	森林資源部 経営グループ	来田 和人 今 博計
15:50 ~ 16:15	道産桜の芳香成分等の新たな利用方法の開発			緑化樹センター 緑化グループ	脇田 陽一

※ 口頭発表のポスターは、4階大・中研修室で展示しています。なお、コアタイムには発表者が内容について説明させていただきます。

## 写 真 展:3Fホワイエ

時 間	展 示 内 容 等	所 属
10:00~16:20	活躍する森林所有者の紹介 「第53回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事入賞者」 「平成26年度北海道産業貢献賞(森林づくり功労者)」 「平成26年度北海道社会貢献賞(森を守り緑に親しむ功労者)」 「平成26年度ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくり コンクール受賞者」 「地域で活躍する北海道指導林家・北海道青年林業士」 「地域で活躍する林業グループ」	北海道水産林務部 森林環境局 森林活用課
	第30回林業普及写真展	北海道林業普及指導職員協議会

ポスター発表:4Fホール 大研修室・中研修室

時 間	発 表 課 題 名	発 表 者			
		所 属		氏 名	
10:00~16:20 ※ コアタイム 12:05~13:20 14:45~15:25	カラマツコンテナ苗による 低コスト施業実証林について(第1報)	北 海 道	空知総合振興局 森林室普及課	田中 泰介	
	割れやねじれの少ない カラマツ心持ち正角材「コアドライ®」の開発と利用	道総研	林産試験場	技術部 生産技術グループ	清野 新一
		オムニス林産協同組合			瀬上 陽平
	道南スギの光変色とその対策	道総研	林産試験場	技術部 製品開発グループ	松本 久美子
	道産カラマツを用いたCLTの実証試験 ー(その1)製造条件の検討ー			性能部 居住環境グループ	宮崎 淳子
	道産カラマツを用いたCLTの実証試験 ー(その2)材料性能の評価ー			技術部 生産技術グループ	大橋 義徳
	道産カラマツを用いたCLTの実証試験 ー(その3)接合性能の評価ー			利用部 マテリアルグループ	村上 了
	道産カラマツを用いたCLTの実証試験 ー(その4)CLT建築物の設計・施工ー			道総研	林産試験場
		物 林 株 式 会 社			角田 正彦
	「新たな住まい」と森林資源循環による 持続可能な地域の形成 ー「森林資源の循環利用システム」の構築ー (カラマツ編)		林業試験場	森林資源部 経営グループ	津田 高明 大野 泰之
				企画調整部 企画課 企画グループ	酒井 明香
	道南スギ人工林収穫予測ソフトの開発について	道総研	林業試験場	森林資源部	八坂 通泰
				道総研法人本部 研究企画部 (元 森林資源部 経営G)	滝谷 美香
	衛星画像の3次元解析による風倒被害把握	道総研	林業試験場	道南支場	菅野 正人
	衛星画像を用いた成林状況の把握			道南支場	寺田 文子
	相対幹曲線を用いたカラマツ立木幹材積の計算 ー中島の材積表は大径材に使えるのか?ー			森林環境部 機能グループ	山田 健四
	森林におけるエゾシカ対策 ー森林管理者がエゾシカを捕獲する時代へー	道総研	林業試験場 環境科学 研究センター	森林資源部 保護グループ	明石 信廣 他2名
				自然環境部 保護管理グループ	宇野 裕之 他3名
				酪農学園大学 農食環境学群	吉田 剛司 他2名
	イルムケツプ小流域における 渓流水質と水生昆虫の概要 ー保残伐実験・伐採前データを紹介しますー	道総研	林業試験場	森林環境部 機能グループ	長坂 有 長坂 晶子
道総研				林業試験場	森林環境部
樹木の被害を組み込んだ 海岸防災林の津波減衰機能のシミュレーション	埼 玉 大 学	大学院理工学研究科		田中 規夫	
	森林総合研究所	気象害・防災林研究室		野口 宏典	
露天掘り跡地の緑化に関して	道総研	林業試験場	緑化樹センター 緑化グループ	棚橋 生子	
			緑化樹センター	清水 一	
非破壊樹木腐朽診断装置の開発に関して	道総研	林業試験場	緑化樹センター 緑化グループ	小久保 亮 脇田 陽一	

※ コアタイム:ポスター会場(4階大・中研修室)で発表者がポスターの内容をご説明します。